

1. 運営会議

委員：揖斐 高	成蹊大学文学部教授
岡崎 久司	早稲田大学熊野文化研究所客員教授
雲英 末雄	早稲田大学第一文学部総合人文学科教授（副議長）
工藤真由美	大阪大学大学院文学研究科教授
榊原 悟	群馬県立女子大学文学部美学美術史学科教授
高埜 利彦	学習院大学文学部教授
十川 信介	学習院大学文学部教授
名和 修	（財）陽明文庫文庫長
平野由紀子	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授
保立 道久	東京大学史料編纂所長
森 正人	熊本大学文学部教授
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
鈴木 淳	副館長（議長）
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系教授
中村 康夫	文学形成研究系教授
安永 尚志	複合領域研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 10 日（火）14：00～16：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 人間文化研究機構国文学研究資料館名誉教授の候補者について
2. 平成 17 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
3. 人間文化研究機構中期目標・中期計画の変更について
4. 平成 18 年度年度計画について
5. 当館の共同利用・共同研究について
6. 当館の管理運営について

- (1) 移転について (2) 規程の制定について

7. 『国文学年鑑』作成事業について

8. その他

第2回 平成18年7月31日(月) 15:00～17:20

場 所 中会議室

議事次第

1. 研究教育職員人事について
2. 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
3. 当館の共同利用・共同研究について
4. 当館の管理運営について
 - (1) 移転について (2) 平成19年度概算要求に係る重点事項の概要について
 - (3) 平成18年度の普及・連携活動について
5. その他

第3回 平成19年1月25日(月) 14:00～17:10

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 研究教育職員人事について
 - (1) 教員組織の新しい制度の基本方針について (2) 准教授及び助教の個別審議について
2. 人間文化研究機構国文学研究資料館名誉教授の候補者について
3. 平成19年度年度計画について
4. 平成19年度客員教員、外国人研究員及び機関研究員について

【報告事項】

- 1 当館の管理運営について
 - (1) 移転について (2) 平成19年度予算内示について
 - (3) 平成19年度の普及・連携活動について
2. その他

2. 主幹・部長会議

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹（情報資料サービス事業部長）
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
田淵句美子	調査収集事業部長
安永 尚志	電子情報事業部長（日本文学研究専攻長）
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
城所 忠	管理部長
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 6 日（木）10：00～12：20

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成 18 年度第 1 回運営会議について
2. 組織規則第 5 条の規定に基づき定める事項に関する規程の制定について
3. 平成 18 年度兼業について
4. 各種委員会委員について

【報告事項】

1. 平成 17 事業年度実績報告書等の作成について
2. 連携研究について
3. 外国出張及び海外研修について
4. その他

第 2 回 平成 18 年 4 月 20 日（木）10：00～12：00

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成 17 事業年度実績報告書等について
2. 規程の制定及び改正について
3. 平成 18 年度兼業について
4. 機関研究員の公募について
5. 平成 18 年度リサーチアシスタントについて

6. 「古典籍総合目録データベース（統合版）」（仮称）の公開について
7. ポータルサイトに対する「歴史人物画像データベース」の提供依頼について

【報告事項】

1. 企画連携室・事務連絡協議会合同会議及び事務連絡協議会について
 2. 平成 18 年度科学研究費補助金の内定通知について
 3. 平成 18 年度業務計画配分について
 4. 基幹研究メンバーについて
 5. 外国出張及び海外研修について
 6. その他
- (1) 海外の日本文学研究者との懇談会について

第 3 回 平成 18 年 5 月 11 日（木）10：00～11：40

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 奨学寄附金の受け入れについて
2. 図書資料委員会規程の改正について

【報告事項】

1. 企画連携室会議について
 2. 機構会議について
 3. 事務連絡協議会について
 4. 平成 18 年度科学研究費補助金の交付内定について
 5. 外部資金の申請状況について
 6. 平成 19 年度概算要求について
 7. 外国出張及び海外研修について
 8. その他
- (1) 人事異動について (2) その他

第 4 回 平成 18 年 5 月 25 日（木）10：00～11：50

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 後援名義使用依頼について
2. 平成 19 年度日本学術振興会特別研究員の応募について
3. 科学研究費補助金の応募資格について
4. 立川新施設での休日開館におけるセキュリティー対策案について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室及び事務連絡協議会合同会議について
3. 機構評価委員会作業部会について
4. 機構資源共有化検討委員会について

5. 普及・連携活動事業部からの報告について
6. 外国出張及び海外研修について
7. その他

(1) 第3回海外の日本文学研究者との懇談会について

第5回 平成18年6月30日(木) 10:00～11:40

場 所 中会議室

議事次第

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 経営協議会及び教育研究評議会合同会議について
3. 機構評価委員会について
4. 企画連携室会議等について
5. 公衆電話の廃止について
6. 出版委員会からの報告について
7. 外国出張及び海外研修について
8. 委員会の再編について
9. 開館時間の延長について

【連絡事項】

1. その他
 - (1) 日本古典文学会について
 - (2) 人間文化研究機構を構成する他機関との連携体制について
 - (3) 機構連携展示について
 - (4) 出版物販売検討ワーキンググループからの報告について
 - (5) アーカイブズカレッジの開催について

第6回 平成18年6月29日(木) 10:00～12:00

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成18年度機関研究員について
2. 学術交流協定の調印について
3. ロゴマークの制定について
4. 立川新施設における入退室管理システムについて
5. 立川総合研究棟Ⅰ期工事の竣工時期について
6. 研究倫理委員会の設置について

【報告事項】

1. 経営協議会及び教育研究評議会合同会議について
2. 企画連携室会議及び事務連絡協議会合同会議について
3. 臨時機構会議について
4. 機構評価委員会について
5. 平成17年度外部評価について
6. 研究資源共有化推進事業経費要求書の提出について

7. 平成 18 年度展示・講演会等催し物について
8. 外国出張及び海外研修について
9. その他

第 7 回 平成 18 年 7 月 20 日（木）10：00～12：25

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 運営会議の開催について
2. 平成 18 年度兼業について
3. 海外交流協定研究員取扱規程等の制定について
4. 若手教員の海外派遣について
5. プロジェクト研究員取扱規程の制定について
6. プロジェクト研究員の公募について
7. 平成 18 年度リサーチアシスタントについて
8. 平成 19 年度招へい研究員の招へい期間の変更について
9. 山梨大学附属図書館との相互協力協定等の締結について
10. 外来研究員の受入について
11. 古典籍の公開データベース（統合版）の名称について
12. デジタル画像公開について

【報告事項】

1. 企画連携室会議について
2. 事務連絡協議会について
3. 外部評価委員会について
4. 平成 17 事業年度に係る業務の実績に関する報告書等について
5. 平成 19 年度概算要求ヒアリングについて
6. 北京外国語大学北京日本学研究中心との学術交流協定の締結について
7. 外国出張及び海外研修について
8. その他

第 8 回 平成 18 年 9 月 14 日（木）10：00～12：30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 後援名義使用依頼について
2. 平成 18 年度兼業について
3. プロジェクト研究員の採用について
4. 若手教員の海外派遣について
5. 文献複写要項の改正について
6. 収集デジタルデータの公開（準備）について
7. 機構評価委員会委員等の選出について

8. 平成 18 年度機構長裁量経費について
9. 平成 19 年度科学研究費補助金の公募について
10. 国文学研究資料館賛助会員（友の会）の設立について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室会議について
3. 事務連絡協議会について
4. 山梨大学附属図書館との間における学術情報に関する相互協力協定について
5. 館長裁量経費の配分について
6. 海外の日本文学者との懇談会について
7. 機構資源共有化検討委員会について
8. 外国出張及び海外研修について
9. 第 5 回人間文化研究機構公開講演会・シンポジウムについて
10. その他

第 9 回 平成 18 年 9 月 28 日（木）10：00～11：30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成 18 年度兼業について
2. 熊本大学文学部との研究連携に関する協定書・覚書の締結について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室会議・事務連絡協議会合同会議について
3. 事務連絡協議会について
4. その他
 - (1) 文部科学省研究振興局長の当館視察について
 - (2) 機構保有個人情報管理委員会について

第 10 回 平成 18 年 10 月 12 日（木）10：00～11：45

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 奨学寄附金の受入について
2. 論文目録データベースへの総研大日文専募集の掲載について

【報告事項】

1. 企画連携室会議について
2. 事務連絡協議会について
3. 平成 17 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
4. 平成 18 年度機構連携研究経費追加要求について
5. 機構研究資源共有化検討委員会について

6. 外国出張及び海外研修について

7. その他

- (1) 第5回人間文化研究機構公開講演会・シンポジウムについて (2) 平成18年度日本文学研究専攻大学院入試説明会について (3) 小川文学資源研究系助教授の第28回角川源義賞受賞について (4) 立川移転二機構事務連絡会について

第11回 平成18年10月26日(木) 10:00～11:20

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 研究助成等外部資金取扱要項の改正について
2. 平成19年度客員教員について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室会議・事務連絡協議会合同会議について
3. 機構長裁量経費について
4. 特別教育研究経費（人間文化研究機構の共同利用基盤の形成）の経費配分について
5. 収集デジタル画像等の仕様について
6. 外国出張及び海外研修について
7. その他

第12回 平成18年11月16日(木) 10:00～12:10

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 総合研究大学院大学海外先進教育研究実践支援制度に基づく若手教員の海外派遣の取扱いについて

【報告事項】

1. 経営協議会及び教育研究評議会について
2. 企画連携室会議について
3. 事務連絡協議会について
4. 平成17年度評価結果の分析について
5. 平成19年度科学研究費補助金について
6. 日本学術振興会特別研究員申請結果について
7. 館長裁量経費の配分について
8. アスベスト撤去工事について
9. 山鹿積徳堂文庫資料について
10. 外国出張及び海外研修について
11. その他
 - (1) 機構会議（11月27日(月)開催）後の意見交換会について
 - (2) 平成20年度機構シンポジウムについて

第 13 回 平成 18 年 11 月 30 日（木）10：00～12：20

場 所 中会議室

議事次第

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室会議・事務連絡協議会合同会議について
3. 事務連絡協議会について
4. 中期目標期間終了時の評価について
5. 平成 17 年度外部評価について
6. 遠隔地の方への資料利用サービスについて
7. 立川移転にともなう資料利用停止について
8. 機構研究資源共有化検討委員会について
9. 外国出張及び海外研修について
10. その他
 - (1) 平成 18 年度年末年始の行事について

第 14 回 平成 18 年 12 月 21 日（木）10：00～11：30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 当館とコレージュ・ド・フランス共催によるシンポジウムの開催について
2. 当館と大阪大学共催の国際研究集会（仮称）の開催について
3. オフィスアワー（総研大日本文学研究専攻）の導入について

【報告事項】

1. 企画連携室会議等について
2. 事務連絡協議会について
3. 科学研究費補助金に係る不正使用等防止のための措置について
4. 外国出張及び海外研修について
5. その他

第 15 回 平成 19 年 1 月 11 日（木）10：00～11：50

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 教員組織の新しい制度の基本方針について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室会議について
3. 事務連絡協議会について
4. 平成 19 年度予算内示について

5. 日本学術振興会特別研究員の申請結果について
6. 外国出張及び海外研修について
7. その他
- (1) 規定の制定等について

第 16 回 平成 19 年 1 月 24 日（水）10：00～12：10

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 運営会議の開催について
2. 危機管理委員会規程の制定について
3. 平成 19 年度年度計画について
4. 平成 19 年度客員教員の称号授与について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 事務連絡協議会について
3. 機構評価委員会について
4. 日本学術振興会特別研究員申請結果について
5. 外国出張及び海外研修について
6. その他

第 17 回 平成 19 年 2 月 7 日（水）10：00～12：30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成 19 年度館内配分予算（案）について

【報告事項】

1. 機構長選考会議について
2. 企画連携室会議について
3. 事務連絡協議会について
4. 海外の日本文学研究者との懇談会について
5. 外国出張及び海外研修について
6. その他

第 18 回 平成 19 年 3 月 1 日（木）10：00～12：00

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 寄附金の受け入れについて
2. 平成 19 年度兼業について
3. インド日本文学会からの後援名義使用許可願について

4. 平成 19 年度機関研究員の採用について
5. 平成 19 年度プロジェクト研究員の採用について
6. 平成 19 年度リサーチアシスタントの採用について
7. 研究成果刊行促進制度について
8. ホームページの転用について
9. 立川キャンパスにおける交流棟 I（宿泊棟）について
10. 規則の改正について

【報告事項】

1. 評価について
 2. 教育研究評議会について
 3. 機構会議
 4. 企画連携室会議及び事務連絡協議会合同会議について
 5. 外国出張及び海外研修について
 6. その他
- (1) 平成 19 年度管理部事務体制について

第 19 回 平成 19 年 3 月 27 日（火）10：00～12：00

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 賛助会（友の会）規程の制定について
2. 研究倫理委員会規程の制定について
3. 平成 19 年度兼業について
4. 外来研究員の受入について
5. 若手教員の海外派遣について
6. 平成 19 年度リサーチアシスタントの採用について
7. 西日本国語国文学会からの要望について
8. 研究教育職員の任期に関する規程について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室会議等について
3. 事務連絡協議会について
4. ライデン大学（オランダ）との学術交流協定について
5. 規則等の改正について
6. 平成 19 年度人事について
7. その他

3. 研究系会議

委員：鈴木 淳	副館長
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
青木 睦	アーカイブズ研究系助教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系助教授
原 正一郎	複合領域研究系助教授（平成 18 年 7 月 31 日まで）
渡辺 浩一	文学資源研究系助教授
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 18 日（火）13：30～15：40

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 国文学研究資料館機関研究員取扱規程（案）について
2. 機関研究員の公募について
3. 組織の再編に伴うプロジェクトとの関わり方について
4. 連携研究員等の識別方法について
5. 平成 18 年度 R A の採用について
6. その他
 - (1) 基幹研究の担当について

【報告事項】

1. 平成 18 年度科学研究費補助金の内定について
2. 平成 18 年度機構連携研究について
3. 平成 17 年度 S C T 研究費助成審査結果について
4. その他

【連絡事項】

1. 第一回来日中の日本文学研究者との懇談会について
2. その他

第 2 回 平成 18 年 5 月 22 日（月）10：30～11：45

場 所 中会議室

議事次第

1. 若手教員の海外派遣について
2. 名札について

3. 平成 19 年度日本学術振興会特別研究員の申請について
4. 研究テーマ・研究計画の館内公募について
5. 当館における科学研究費補助金の応募資格について
6. 平成 18 年度科学研究費補助金の交付内定について
7. 奨学寄付金の受入について
8. 平成 18 年度研究助成の応募状況等について
9. 海外の日本文学研究者との懇談会について
10. その他

第3回 平成 18 年 6 月 6 日（火）15：00～16：00

場 所 中会議室

議事次第

1. 若手教員の海外派遣について
2. 機関研究員の応募状況について
3. 名札の着用について
4. 平成 19 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について
5. 研究助成等への申請について
6. 日本学術振興会特別研究員の申請について
7. 科学研究費補助金研究者名簿への登録等について
8. その他

第4回 平成 18 年 6 月 20 日（火）10：30～11：40

場 所 中会議室

議事次第

1. 機関研究員の採用について
2. 若手教員の海外派遣について
3. その他

第5回 平成 18 年 7 月 18 日（火）10：30～12：45

場 所 中会議室

議事次第

1. 若手教員の海外派遣について
2. 海外交流協定研究員規程等について
3. プロジェクト研究員取扱規程について
4. 平成 18 年度プロジェクト研究員の公募について
5. リサーチ・アシスタントの採用について
6. 平成 19 年度海外招へい研究員の招へい期間の変更について
7. 山梨大学附属図書館との相互協力協定等について
8. 第2回ダニエル・ストリュープ研究会について
9. 平成 18 年度外来研究員の受入について

10. 科学研究費補助金説明会について

11. その他

第6回 平成18年9月12日(火) 13:30～15:30

場 所 中会議室

議事次第

1. プロジェクト研究員について
2. 若手教員の海外派遣について
3. 平成19年度客員教員について
4. 大型科研の申請について
5. 中期目標期間終了時の評価について
6. 研究助成等について
7. その他

第7回 平成18年10月24日(火) 15:00～17:45

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成19年度研究プロジェクトの計画について
2. 平成19年度客員教員について
3. 平成19年度機関研究員及びリサーチアシスタント等について
4. 平成19年度科学研究費補助金の申請計画について
5. 研究助成等外部資金取扱要項の改正について
6. 若手教員の海外派遣について
7. 共同研究・研究プロジェクト報告書(仮称)の刊行について
8. 研究プロジェクト経費及び科学研究費補助金の執行状況について
9. 科学研究費補助金関係の検査について
10. 機構連携研究経費の追加配分について
11. その他

第8回 平成18年11月15日(水) 15:00～16:50

場 所 中会議室

議事次第

1. 暫定評価に向けた研究プロジェクト等の成果取りまとめについて
2. 平成19年度科学研究費補助金の申請について
3. 若手教員の海外派遣対象者の決定について
4. 若手教員の海外派遣の取扱について
5. 平成18・19年度日本学術振興会特別研究員の申請結果について
6. 平成19年度の研究プロジェクト発表会開催方法について
7. プロジェクト経費及び科研費等の執行状況について
8. その他

第9回 平成18年12月7日(木) 13:30～15:00

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成19年度研究計画について
2. 平成19年度機関研究員の公募について
3. 平成19年度若手教員の海外派遣候補者推薦について
4. 平成19年度プロジェクト発表会について
5. 研究倫理ポリシーについて
6. 暫定評価について
7. 平成18年度内に実施する国際研究集会について
8. PDFによる研究成果の公開について
9. プロジェクト経費及び科研費等の執行状況について
10. 研究助成の申請について
11. その他

第10回 平成19年1月18日(木) 15:30～17:15

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成19年度客員教員の称号授与について
 2. 外部評価と暫定評価について
 3. 研究倫理ポリシーについて
 4. 日本学術振興会特別研究員の申請結果について
 5. プロジェクト経費及び科研費等の執行状況について
 6. その他
- (1) 研究プロジェクト及び基幹研究の終了方法等について

第11回 平成19年2月20日(火) 15:30～18:15

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成19年度機関研究員及びプロジェクト研究員について
2. 平成19年度リサーチアシスタントについて
3. 平成19年度若手教員海外派遣候補者について
4. 国文学研究資料館研究倫理委員会について
5. 国文学研究資料館研究成果刊行促進制度について
6. 後援名義使用許可について
7. 平成19年度研究計画について
8. 平成18年度プロジェクト経費及び科研費等の執行状況について
9. 研究費の不正対策検討会報告書について
10. その他

第12回 平成19年3月26日(月) 15:30～17:00

場 所 中会議室

議事次第

1. 国文学研究資料館研究倫理委員会について
2. 平成 18 年度国文学研究資料館年報の原稿について
3. 平成 19 年度研究プロジェクト発表会について
4. 平成 19 年度リサーチアシスタントについて
5. 外来研究員の受入について
6. 寄附金の受入について
7. 平成 19 年度若手教員海外派遣について
8. 平成 18 年度プロジェクト経費及び科研費等の執行状況について
9. その他

4. 共同研究委員会

委員：井原今朝男	国立歴史民俗博物館歴史資料センター長
中嶋 隆	早稲田大学教育学部教授
中丸 宣明	山梨大学教育人間科学部助教授
三田村雅子	フェリス女学院大学文学部教授
三村 晃功	京都光華女子大学長
伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
陳 捷	文学資源研究系助教授

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 2 月 27 日（火）18：00～12：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 委員長の選出について
2. 平成 18 年度基幹研究・研究プロジェクト実施状況について
3. 平成 18 年度公募型共同研究中間審査について
4. 公募型共同研究成果物の配布先について
5. 平成 19 年度研究プロジェクト計画について
6. 平成 20 年度公募型共同研究の募集について
7. 平成 18 年度外国人研究員の共同研究報告書について
8. その他

5. 大学院教育委員会

委員：鈴木 淳	副館長
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
安永 尚志	日本文学研究専攻長
青木 睦	アーカイブズ研究系助教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系助教授
小川 剛生	文学資源研究系助教授
落合 博志	文学資源研究系助教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系助教授
城所 忠	管理部長
愛場 優治	管理部総務課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 12 日（水）10：30～11：10

場 所 中会議室

議事次第

1. 委員長の選出について
2. その他

第 2 回 平成 18 年 4 月 25 日（火）15：00～16：15

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 18 年度特別共同利用研究員の受入について
2. 平成 18 年度特別共同利用研究員オリエンテーションについて
3. その他

第 3 回 平成 18 年 11 月 17 日（金）13：30～14：00

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 19 年度特別共同利用研究員の募集要項（案）について
2. 平成 19 年度特別共同利用研究員指導課題（案）について

第 4 回 平成 18 年 12 月 21 日（木）13：30～14：00

場 所 中会議室

議事次第

【議 事】

1. 特別共同利用研究員の研究課題変更について
2. 助教を特別共同利用研究員の研究指導教員とすることについて

【事務連絡】

1. 平成 19 年度特別共同利用研究員研究指導課題一覧について

第 5 回 平成 19 年 1 月 18 日（木）13：30～13：55

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 18 年度研究指導報告書について
2. 平成 18 年度研究報告書・研究報告について
3. 平成 18 年度研究指導修了通知書・研究修了証明書（案）
4. その他

6. 情報事業センター会議

委員：鈴木 淳	情報事業センター長
大高 洋司	情報資料サービス事業部長
田淵句美子	調査収集事業部長
安永 尚志	電子情報事業部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
長坂 悦朗	管理部事業課長

7. 調査収集委員会

委員：久保田啓一	広島大学大学院文学研究科教授
嶋中 道則	東京学芸大学教育学部教授
千本 英史	奈良女子大学文学部教授
寺島 恒世	東京医科歯科大学教養部教授
中野 等	九州大学大学院比較社会文化研究院助教授
山田 俊治	横浜市立大学国際総合科学部教授
山本 登朗	関西大学文学部教授
鈴木 淳	情報事業センター長
大高 洋司	情報資料サービス事業部長
武井 協三	調査収集事業部副部長
谷川 恵一	調査収集事業部教授
田淵句美子	調査収集事業部長
山下 則子	普及・連携活動事業部教授
青木 睦	調査収集事業部助教授
小川 剛生	調査収集事業部助教授

落合 博志	調査収集事業部助教授
加藤 昌嘉	調査収集事業部助教授
渡辺 浩一	調査収集事業部助教授

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 5 月 19 日（金）14：00

場 所 大会議室 B

議事次第

1. 平成 17 年度「調査」・「収集」結果について
2. 平成 18 年度「調査」・「収集」結果について
3. 基幹研究について
4. その他

第 2 回 平成 19 年 3 月 15 日（木）14：00

場 所 大会議室 B

議事次第

1. 平成 18 年度調査収集事業について
2. 平成 19 年度調査収集事業計画について
3. その他
 - ・資源共有化予算によるデジタル収集資料のインターネット公開及び調査カードとマイクロ資料目録データベースとのリンクについて

8. 調査収集計画委員会

委員：鈴木 淳	副館長
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田渕句美子	文学資源研究系教授
青田 寿美	複合領域研究系助教授
小川 剛生	文学資源研究系助教授
落合 博志	文学資源研究系助教授
陳 捷	文学資源研究系助教授
渡辺 浩一	文学資源研究系助教授
井田 太郎	文学形成研究系助手
木戸 雄一	複合領域研究系助手
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 11 日（火）13：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 委員長の選出について
2. 平成 18 年度の調査収集について
3. 基幹研究について
4. その他

9. 電子情報委員会

委員：石上 英一	東京大学史料編纂所教授
石塚 英弘	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授
内田 保廣	共立女子大学文芸学部教授
丸山 勝巳	国立情報学研究所ソフトウェア研究系研究主幹
マイケル・ワツソ	明治学院大学国際学部教授
鈴木 淳	情報事業センター長
安藤 正人	電子情報事業部教授
中村 康夫	電子情報事業部教授
安永 尚志	電子情報事業部長
山下 則子	普及・連携活動事業部教授
野本 忠司	電子情報事業部助教授
原 正一郎	電子情報事業部助教授（平成 18 年 7 月 31 日まで）

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 3 月 9 日（金）13：00～14：30

場 所 中会議室

議事次第

【報 告】

1. 第 4 回電子情報委員会議事要旨（案）について
2. 電子情報事業部の事業内容について
3. 資源共有化について

【審 議】

4. 平成 19 年度事業計画について

10. 普及・連携事業委員会

委員：浅野 秀剛	千葉市美術館学芸課長
佐伯 眞一	青山学院大学文学部教授
竹本 幹夫	早稲田大学文学部教授
別府 節子	出光美術館学芸員
宮崎 康充	宮内庁書陵部図書調査官
鈴木 淳	情報事業センター長
大友 一雄	普及・連携活動事業部副部長
安永 尚志	電子情報事業部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
山下 則子	普及・連携活動事業部教授
伊藤 鉄也	普及・連携活動事業部助教授
齋藤真麻理	調査収集事業部助教授

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 1 月 30 日（火）13：30～15：25

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 18 年度普及・連携活動事業の評価について
2. 平成 19 年度普及・連携活動事業の事業計画について

11. 国際日本文学研究集会委員会

委員：小峯 和明	立教大学文学部教授
関 礼子	亜細亜大学経済学部教授
坪井 秀人	名古屋大学大学院文学研究科教授
横井 孝	実践女子大学文学部教授
ロバート・キャンベル	東京大学大学院総合文化研究科助教授
鈴木 淳	情報事業センター長
大友 一雄	普及・連携活動事業部教授
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
山下 則子	普及・連携活動事業部教授
伊藤 鉄也	普及・連携活動事業部助教授
陳 捷	普及・連携活動事業部助教授
北村 啓子	普及・連携活動事業部助手

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 7 月 24 日（月）14：00～16：50

場 所 大会議室B

議事次第

1. 第30回国際日本文学研究集会講演者の決定について
2. 第30回国際日本文学研究集会招待発表者の決定について
3. 第30回国際日本文学研究集会研究発表者の選考について
4. 第30回国際日本文学研究集会ポスターセッション発表者の選考について
5. 第30回国際日本文学研究集会プログラムの決定について
6. その他

第2回 平成18年11月9日(木) 10:30～12:20

場 所 中会議室

議事次第

1. 第30回国際日本文学研究集会の準備状況について
2. 第30回国際日本文学研究集会運営の細部打ち合わせについて
3. 第31回国際日本文学研究集会の実施計画について

12. 図書館事業委員会

委員：市古 夏生	お茶の水女子大学文教育学部教授
折田 洋晴	国立国会図書館主題情報部古典籍課長
笹川 郁夫	東京大学附属図書館事務部長
根岸 正光	国立情報学研究所情報社会相関研究系教授
宮崎 勝美	東京大学史料編纂所近世史料部教授
鈴木 淳	情報事業センター長
大高 洋司	情報資料サービス事業部長
大友 一雄	普及・連携活動事業部教授
高橋 実	情報資料サービス事業部副部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
落合 博志	調査収集事業部助教授

平成18年度開催状況：

第1回 平成19年3月22日(木) 10:00～11:40

場 所 中会議室

議事次第

1. 協議事項
 - (1) 平成18年度図書館事業報告・評価について
 - (2) 平成18年度古典籍総合目録事業報告について
 - (3) 平成19年度図書館事業計画について
 - (4) 平成19年度古典籍総合目録事業計画について
2. その他

13. 図書資料委員会

委員：大高 洋司	情報資料サービス事業部長
青田 寿美	調査収集事業部助教授
加藤 昌嘉	調査収集事業部助教授
齋藤真麻理	調査収集事業部助教授
陳 捷	普及・連携活動事業部助教授
山田 哲好	電子情報事業部助教授

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 5 月 23 日（火）13：30～14：40

場 所 中会議室

議事次第

1. 委員長及び副委員長の決定について
2. 平成 18 年度図書購入計画について
3. 年報平成 17 年度「新収和古書紹介」書目選定及び解題執筆者について
4. 資料寄託申し込みについて
5. 図書の選定について

第 2 回 平成 18 年 5 月 23 日（火）13：30～14：40

場 所 中会議室

議事次第

1. 貴重書及び特別コレクション指定について
2. 資料寄託申し込みについて
3. 図書の選定について
4. その他

第 3 回 平成 18 年 7 月 26 日（水）13：30～13：45

場 所 大会議室 B

議事次第

1. 図書の選定について

第 4 回 平成 18 年 9 月 26 日（火）13：30～14：05

場 所 中会議室

議事次第

1. 資料寄託申し込みについて
2. 松野陽一氏旧蔵活字本の受入について
3. 図書の選定について

第 5 回 平成 18 年 11 月 7 日（火）13：30～14：20

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 19 年度業務計画書の作成について
2. 図書の選定について
3. 東京古典会について

第 6 回 平成 18 年 12 月 19 日（火）10：30～11：55

場 所 中会議室

議事次第

1. 海外学術交流協定機関に日本図書等を送ることについて
2. 図書の選定について
3. 「杉浦梅潭詩稿ほか」の受入後の扱いについて
4. 目録・図録の購入計画について
5. 委員長会議報告

第 7 回 平成 19 年 2 月 21 日（水）13：30～15：10

場 所 中会議室

議事次第

1. 福田秀一氏寄贈日本文学翻訳書の扱いについて
2. 一括購入した印譜類の扱いについて
3. 特別コレクション「岩津資雄旧蔵書」の指定追加及び解除について
4. 原本購入の方針について
5. 平成 19 年度予算について
6. 平成 18 年度予算の追加配分について
7. 図書の選定について

14. 出版委員会

委員：鈴木 淳	副館長
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
青田 寿美	複合領域研究系助教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系助教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系助教授
齋藤真麻理	文学形成研究系助教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系助教授
渡辺 浩一	文学資源研究系助教授
相田 満	文学形成研究系助手
井田 太郎	文学形成研究系助手

愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 18 日（火）16：00～17：00

場 所 中会議室

議事次第

1. 委員長の選出及び副委員長の指名について
2. 規程の制定について
3. 紀要ワーキンググループについて
4. 今年度の出版物について
5. オンデマンド出版の著者割引担当者について

第 2 回 平成 18 年 6 月 29 日（火）15：30～17：10

場 所 中会議室

議事次第

【報告事項】

1. 紀要作成ワーキンググループ報告
2. 山梨大学附属図書館近代文庫所蔵文献資料のオンデマンド出版に関する覚え書について

【協議事項】

1. 平成 18 年度出版計画について
2. 出版物の販売について
3. 国立 情報学研究所による研究紀要の電子化への対応について
4. 米子工業高等専門学校からの寄贈依頼について

第 3 回 平成 18 年 11 月 30 日（木）15：00～16：15

場 所 大会議室 A

議事次第

【報告事項】

1. 紀要作成ワーキンググループ報告
2. 委員長会議報告
3. 国立国会図書館への納本について

【協議事項】

1. 平成 18 年度研究プロジェクト（共同研究）報告書について
2. 国文研の出版物のあり方について

第 4 回 平成 18 年 12 月 26 日（火）15：00～16：20

場 所 大会議室 A

議事次第

【報告事項】

1. 紀要作成ワーキンググループ報告

【協議事項】

1. 共同研究などによる成果物の刊行について
2. 研究成果報告書の刊行予定について

第5回 平成19年1月23日（火）13：30～15：10

場 所 2号書庫講義室

議事次第

【報告事項】

1. 紀要作成ワーキンググループ報告
2. 研究成果報告書の進捗状況について

【協議事項】

1. 出版助成について
2. アーカイブズ研究系『史料目録』『紀要』の出版社からの販売再開について
3. 研究プロジェクトおよび基幹研究の終了手続きについて

第6回 平成19年2月6日（火）13：30～15：10

場 所

議事次第

【報告事項】

1. 紀要の進捗状況について

【協議事項】

1. 出版助成について

第7回 平成19年2月20日（火）13：30～14：55

場 所

議事次第

【報告事項】

1. 出版物の進捗状況について

【協議事項】

1. 研究成果刊行促進制度について

15. 知的財産委員会

委員：高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系助教授
野本 忠司	複合領域研究系助教授
原 正一郎	複合領域研究系助教授（平成 18 年 7 月 31 日まで）
山田 哲好	アーカイブズ研究系助教授
加藤 聖文	アーカイブズ研究系助手
城所 忠	管理部長
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 5 月 16 日（火）10：00～11：30

場 所 中会議室

議事次第

1. マレガ文庫所蔵日本書籍目録について
2. 「リプリント日本近代文学」の Amazon での広告代行について
3. 歴史人物画像データベースのデータ提供について
4. 転載許可等について
5. その他

第 2 回 平成 18 年 6 月 28 日（水）15：30～16：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 当館における著作権問題又は課題事項の提案について
2. その他

第 3 回 平成 18 年 10 月 4 日（水）13：30～15：00

場 所 中会議室

議事次第

1. 当館著作物（データベース）の館外への提供について
2. Mario Marega 文庫所蔵日本書籍目録英文編データベースの公開に関する覚書について
3. その他

第 4 回 平成 18 年 12 月 13 日（水）15：30～16：10

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 18 年度人間文化研究機構知的財産整備事業計画について

- (1) 著作権セミナー開催計画について (2) データベース台帳整備について
2. 人間文化研究機構著作物取扱規程について
3. 当館著作物（データベース）の館外への提供についての取扱いについて
4. その他

16. 外部評価委員会

委員：今西裕一郎	九州大学大学院人文科学研究院教授
黒田日出男	立正大学文学部教授（群馬県立歴史博物館長）
小島 孝之	成城大学文芸学部教授
ハルトムート・ローモンド	フランス国立高等研究院教授（城西国際大学人文学部客員教授）

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 7 月 11 日（火）15：00～16：50

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 17 年度外部評価の実施について
2. その他

第 2 回 平成 18 年 9 月 29 日（金）10：00～13：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 17 年度外部評価について
2. その他

17. 評価委員会

委員：鈴木 淳	副館長
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田渕句美子	調査収集事業部長
中村 康夫	文学形成研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
落合 博志	文学資源研究系助教授
原 正一郎	複合領域研究系助教授（平成 18 年 7 月 31 日まで）
渡辺 浩一	文学資源研究系助教授
木戸 雄一	複合領域研究系助手
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 13 日（木）10：30～11：45

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 17 事業年度業務実績報告書について

第 2 回 平成 18 年 5 月 16 日（火）10：30～12：40

場 所 中会議室

議事次第

1. 機構評価委員会作業部会（平成 18 年 5 月 10 日開催）について

第 3 回 平成 18 年 5 月 19 日（木）10：30～12：00

場 所 中会議室

議事次第

1. 機構評価委員会作業部会について

第 4 回 平成 18 年 11 月 14 日（木）13：30～15：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 17 年度評価結果の分析について
2. 国立大学評価委員会の評価結果における指摘事項及びその対応方針について

第5回 平成19年1月19日(木) 10:00～12:00

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成19年度年度計画について
2. その他

第6回 平成19年2月28日(水) 10:30～12:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成18年度評価について
2. 平成19年度に実施される暫定評価について
3. その他

18. 広報委員会

委員：安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授
青木 睦	アーカイブズ研究系助教授
青田 寿美	複合領域研究系助教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系助教授
落合 博志	文学資源研究系助教授
齋藤真麻理	文学形成研究系助教授
野本 忠司	複合領域研究系助教授
原 正一郎	複合領域研究系助教授(平成18年7月31日まで)
山田 哲好	アーカイブズ研究系助教授
相田 満	文学形成研究系助手
北村 啓子	アーカイブズ研究系助手
前川佳遠理	複合領域研究系助手
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

平成18年度開催状況：

第1回 平成18年4月26日(水) 13:30～14:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成18年度概要について
2. リーフレットについて
3. 今後の「国文学研究資料館ニュース」の作成について
4. 当館ホームページのトップページについて

第2回 平成19年1月30日(火) 10:00～12:00

場 所 中会議室

議事次第

1. 英語ホームページについて
2. 広報に関する懇談会について
3. ホームページの転用について

19. 情報公開委員会

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	調査収集事業部長
安永 尚志	電子情報事業部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
城所 忠	管理部長
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

20. 人権委員会

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
安永 尚志	複合領域研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
青木 睦	アーカイブズ研究系助教授
青田 寿美	複合領域研究系助教授
山田 直子	文学資源研究系助手
城所 忠	管理部長
愛場 優治	管理部総務課長

21. 衛生委員会

委員：愛場 優治	管理部総務課長
丸山 道彦	産業医
黒瀧 裕	管理部総務課課長補佐
古瀬 武彦	管理部総務課人事係長
江戸 英雄	文学形成研究系助手
山田 直子	文学資源研究系助手
佐藤 崇	管理部総務課総務係員

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 19 日（水）14：00～14：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 衛生委員会の今年度の活動について
2. 館内の照度測定結果及び特定建築物環境衛生関係結果について
3. その他

第 2 回 平成 18 年 5 月 24 日（水）14：00～14：30

場所 大会議室 A

議事次第

1. 定期巡視について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 次回の開催について
4. その他

第 3 回 平成 18 年 6 月 21 日（水）14：00～14：30

場所 大会議室 A

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 構内清掃における安全衛生対策について
3. その他

第 4 回 平成 18 年 7 月 5 日（水）14：00～14：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. その他

第 5 回 平成 18 年 7 月 26 日（水）14：00～14：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 定期健康診断の実施について
- 3 3. その他

第6回 平成18年9月27日(水) 14:00～14:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 健康診断について
2. 法定点検、設備業務等について
3. その他

第7回 平成18年10月18日(水) 14:00～14:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. その他

第8回 平成18年11月15日(水) 14:00～14:30

場 所 大会議室A

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 研修について
3. その他

第9回 平成18年12月20日(水) 14:30～15:00

場所 大会議室A

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. インフルエンザの予防について
3. その他

第10回 平成19年1月17日(水) 14:00～14:30

場 所 総研大日本文学研究専攻講義室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. その他

第11回 平成19年2月21日(水) 14:00～14:30

場 所 総研大日本文学研究専攻講義室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. その他

第12回 平成19年3月15日(木) 14:00～14:30

場 所 総研大日本文学研究専攻講義室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 今年度労働衛生関係事業実施事業及び来年度予定について
3. その他

22. 人事委員会

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
城所 忠	管理部長
愛場 優治	管理部総務課長

23. 移転実行委員会

委員：安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
中村 康夫	文学形成研究系教授
山崎 誠	文学形成研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
小川 剛生	文学資源研究系助教授
齋藤真麻理	文学形成研究系助教授
陳 捷	文学資源研究系助教授
野本 忠司	複合領域研究系助教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系助教授
江戸 英雄	文学形成研究系助手
加藤 聖文	アーカイブズ研究系助手
久保木秀夫	文学資源研究系助手
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長

長坂 悦朗 管理部事業課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 5 月 18 日（木）15：30～17：00

場 所 大会議室 B

議事次第

1. 委員長の選出及び副委員長の指名について
2. 前回議事要録の確認
3. 既存施設からの（記念樹等の）移転物品について（外構部分も含めて）
4. リフレッシュコーナーについて
5. 中央管理室の仕様について
6. 車輛規制について
7. 休日開館について
8. 3 機関が揃うまでの期間について
9. 外構整備について
10. 平成 19 年度概算要求について
11. その他

第 2 回 平成 18 年 6 月 28 日（水）10：00～12：00

場 所 大会議室 B

議事次第

1. 前回議事要録の確認
2. 立川移転実行及び記念式典計画委員会について
3. 入退室管理システムについて
4. 総合研究棟 I 期工事の竣工時期について
5. 総合研究棟 1 階南側レイアウトの変更について
6. 掲示板の設置等について
7. 展示室について
8. サイン計画について
9. その他

第 3 回 平成 19 年 1 月 31 日（水）15：30～17：00

場 所 大会議室 B

議事次第

1. 前回議事要録の確認
2. 平成 19 年度移転関係の執行計画について
3. 移転スケジュールの確認について
4. 移転に関する広報について
5. 諸室の鍵の運用について
6. 展示室の内装について
7. 共通エリアに係わる維持管理について

8. その他

第4回 平成19年2月28日(水) 13:30～15:30

場 所 大会議室B

議事次第

1. 前回議事要録の確認
2. 立川移転3研究機関の検討項目(情報関係)について
3. 入退室システムについて
4. 仕様策定委員会の委員変更について
5. 仮使用範囲について
6. 交流棟Iについて
7. その他

24. 将来計画委員会

委員：鈴木 淳	副館長
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田渕句美子	文学資源研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
小川 剛生	文学資源研究系助教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系助教授
入口 敦志	文学資源研究系助手
五島 敏芳	アーカイブズ研究系助手
城所 忠	管理部長
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

平成18年度開催状況：

第1回 平成18年12月12日(火) 15:30～17:30

場 所 大会議室A

議事次第

1. 研究プロジェクトの運営について

25. 国際交流委員会

委員：安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田渕句美子	文学資源研究系教授
中村 康夫	文学形成研究系教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系助教授
陳 捷	文学資源研究系助教授
渡辺 浩一	文学資源研究系助教授
入口 敦志	文学資源研究系助手
前川佳遠理	複合領域研究系助手
城所 忠	管理部長
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 13 日（木）11：30～12：15

場 所 大会議室 A

議事次第

1. 来日中の日本文学研究者との懇談会について
2. 人間文化研究機構国文学研究資料館国際交流委員会規程について
3. 第 2 回アジア太平洋アーカイブズ学教育国際会議の後援について（依頼）
4. 第 30 回国際日本文学研究集会のテーマ「表象と表現」について

第 2 回 平成 18 年 5 月 10 日（水）15：00～16：05

場 所 大会議室 A

議事次第

1. 学術交流の内容について
2. 海外の日本文学研究者との懇談会について
3. フィレンツェ大学言語学ディパルティメントとの学術交流について

第 3 回 平成 18 年 6 月 21 日（水）13：30～14：55

場 所 中会議室

議事次第

1. 学術交流に伴う海外派遣について
2. 学術交流に伴う学生の受け入れについて
3. イタリアに日本書籍を送ることについて
4. 来日中の日本文学研究者との懇談会について

第4回 平成18年7月12日(水) 13:30～15:30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 海外交流協定研究員取扱規程について
2. 海外交流協定研究員の受入れに関する取扱いについて
3. 若手教員の海外派遣の取扱について
4. イタリアに日本書籍を送ることについて
5. 国際シンポジウム「近世アジア東西端における王朝文書と社会動態(仮)」について
6. その他

【報告事項】

1. 北京日本学研究中心との学術交流協定・覚書について
2. フィレンツェ大学言語学ディパルティメントとの学術交流協定書・覚書について
3. 海外の日本文学研究者との懇談会について

第5回 平成18年9月20日(水) 13:00～14:40

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 若手教員の海外派遣予算の運用について
2. 総合研究大学院大学海外先進教育研究実践支援制度に基づく若手教員の海外派遣の取扱いについて
3. 国際日本文学研究集会について
4. 視覚展示会参加依頼について
5. 学術協定締結機関との交流内容について
 - (1) コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所からの研究者の受入
 - (2) 浙江工商大学との交流内容

【報告事項】

1. その他

第6回 平成18年10月25日(水) 13:30～15:15

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成18年度若手教員の海外派遣候補者内定及び追加推薦について
2. 平成19年度若手教員の海外派遣候補者推薦スケジュールについて
3. 総合研究大学院大学海外先進教育研究実践支援制度に基づく若手教員の海外派遣の取扱いについて
4. 学術協定締結機関との交流内容及び連絡教員(案)について
5. これからの国際交流についての提案
6. その他
 - (1) 第2回アジア太平洋アーカイブズ学教育国際会議について

第7回 平成18年12月6日(水) 10:30～12:10

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成19年度若手教員の海外派遣候補者推薦について
2. 平成19年度学術交流予定について
3. 海外学術交流協定機関に日本図書等を送ることについて
4. 平成19年度国際交流関係予算要求について
5. イタリアでの日本文学研究会について
6. 平成18年度内に実施する国際研究集会について
7. その他

(1) 第6回海外の日本文学研究者との懇談会 (2) 新聞記事の整理 (3) 海外

【報告事項】

1. 国文学研究資料館とライデン大学との間における学術交流協定書・覚書について
2. 第5回海外の日本文学研究者との懇談会について

第8回 平成19年1月24日(水) 14:45～16:00

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成18年国際連携協力経費要求について
2. 国際日本文学研究集会について
3. 第7回海外の日本文学研究者との懇談会について
4. その他

【協議事項】

1. 第6回海外の日本文学研究者との懇談会について
2. 海外学術交流協定機関に日本図書等を送ることについて
3. ローマ大学との学術交流協定の締結について
4. その他

第9回 平成19年3月14日(水) 11:00～12:00

場 所 中会議室

議事次第

1. ハーバード大学での国際学会実施について
2. ライデン大学文学部との学術交流協定について
3. その他

26. 研究戦略委員会

委員：鈴木 淳	副館長
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系教授
安永 尚志	複合領域研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
青木 睦	アーカイブズ研究系助教授
青田 寿美	複合領域研究系助教授
小川 剛生	文学資源研究系助教授
齋藤真麻理	文学形成研究系助教授
五島 敏芳	アーカイブズ研究系助手
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 12 日（水）11：20～12：20

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 研究戦略委員会（仮称）規程について
2. その他
 - (1) 科学研究費補助金についての館内説明会について
 - (2) 研究テーマ及び研究計画の募集について

【協議事項】

1. 平成 18 年度連携研究について
2. その他

【連絡事項】

1. トヨタ財団 研究助成プログラムについて
2. 財団法人 大川情報通信基金 研究助成について

第 2 回 平成 18 年 4 月 26 日（水）10：30～11：40

場 所 中会議室

議事次第

1. 研究戦略委員会規程について
2. 平成 18 年度科学研究費補助金の交付内定について
3. 当館における科研費の応募資格者について

4. 研究テーマ及び研究計画の館内公募について
5. 各種研究助成の応募について
 - (1) トヨタ財団研究助成プログラム
 - (2) 大川情報通信基金研究助成
 - (3) 日本学術振興会国際研究集会
6. その他

第3回 平成18年7月12日(水) 10:30～11:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 山梨大学附属図書館との相互協力協定等について
2. 稲盛財団研究助成の申請について
3. 世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業の申請について
4. 研究テーマ・研究計画の募集結果について
5. 二国間交流事業協同研究・セミナー等の募集について
6. 科学研究費補助金の受入について
7. 科学研究費補助金説明会について
8. 人間文化研究資源の共有化推進事業経費要求について
9. 奨学寄付金の受入について
10. その他

第4回 平成18年8月10日(木) 10:30～11:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 機構連携研究の研究経費追加要求について
2. 平成19年度以降の外部資金の申請計画について
3. 科学研究費補助金の申請準備について
4. 科学研究費補助金説明会について
5. 山梨大学附属図書館との相互協力協定等について
6. 人間文化研究資源の共有化推進事業経費の配分について
7. その他

第5回 平成18年10月6日(金) 10:30～11:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成19年度科学研究費補助金の申請予定課題について
2. 奨学寄付金の受入について
3. 熊本大学文学部との研究連携について
4. 科学研究費補助金の内部監査等について
5. マレガ文庫所蔵日本書籍目録英文編データベースの公開に関する覚書について
6. その他

第6回 平成18年10月17日(火) 10:30～12:00

場 所 大会議室B

議事次第

1. 平成19年度科学研究費補助金の申請予定課題について
2. 熊本大学文学部との研究連携について
3. 研究助成等外部資金取扱要項の改正について
4. 奨学寄附金の受入について
5. 科学研究費補助金の内部監査等について
6. その他

第7回 平成18年11月7日(火) 13:00～14:00

場 所 大会議室B

議事次第

1. 平成19年度科学研究費補助金の申請予定課題について
2. 今後の研究戦略について
3. その他

第8回 平成18年12月26日(火) 13:30～14:20

場 所 中会議室

議事次第

1. 今後の研究戦略について
2. 研究助成等について
3. その他

第9回 平成19年2月13日(火) 13:30～15:00

場 所 中会議室

議事次第

1. 今後の研究戦略について
2. 連携研究計画について
3. 研究テーマ・研究計画の館内公募について
4. その他

27. 情報図書館委員会

委員：鈴木 淳	文学資源研究系研究主幹
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
安永 尚志	複合領域研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授
青田 寿美	複合領域研究系助教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系助教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系助教授
齋藤真麻理	文学形成研究系助教授
陳 捷	文学資源研究系助教授
野本 忠司	複合領域研究系助教授
原 正一郎	複合領域研究系助教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系助教授
相田 満	文学形成研究系助手
久保木秀夫	文学資源研究系助手
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
長坂 悦朗	管理部事業課長

平成 18 年度開催状況：

第 1 回 平成 18 年 4 月 26 日（水）15：00～17：20

場 所 中会議室

議事次第

1. 図書資料委員会の検討事項について
2. 関係規則の改正について
 - (1) ネットワーク利用要項
 - (2) データベースの受入及び公開に関する取扱要項
 - (3) データベースの受入及び公開の取扱いに関する申合せ
3. 平成 18 年度図書館事業計画について
 - (1) 資料のデジタル画像公開準備
 - (2) 古典籍総合目録データベース
 - (3) 歴史資料閲覧室移動計画
4. 資料影印（資料全体の掲載許可）申請の取り扱いについて

第 2 回 平成 18 年 7 月 13 日（木）13：30～16：00

場 所 中会議室

議事次第

1. 研究事業用電子計算機システムについて

2. 古典籍の公開データベース（統合版）の名称変更について
3. 「国書基本データベース（著作編）」の検索結果の利用について
4. 所蔵資料の全冊掲載（影印）の扱いと当館資料撮影掲載規程別表の点数について
5. 著作典拠ファイルにおける国書データの訂正について報告
6. 図書資料委員会報告
7. データベースの公開について
8. デジタル画像公開のためのワーキンググループ報告
9. デジタル画像公開についての方針

第3回 平成18年9月7日（木）13：30～15：40

場 所 中会議室

議事次第

1. 「館蔵古典籍資料目録データベース（仮）」について
2. 「画像・目録連携マルチメディアデータベース」の現状と名称について
3. 「国書基本データベース（著作編）」の検索結果の利用について
4. 文献複写要項の改正について
5. アスベスト工事に伴う館内の複写受付締切前倒しについて
6. 人間文化研究資源の共有化推進事業経費の配分について
7. 著作典拠ファイルにおける国書データの訂正について報告
8. 図書資料委員会報告

第4回 平成18年10月17日（火）13：30～14：10

場 所 中会議室

議事次第

1. 収集デジタル画像等仕様策定ワーキンググループ報告
2. 平成19年度科学研究費補助金によるデータベース作成計画の事前審査について
3. 図書資料委員会報告
4. 二松学舎大学からの「国書基本データベース（著作編）」検索結果の利用申請の取扱について
5. 外部評価委員会の意見への対応策についての経過報告

第5回 平成18年11月28日（火）13：30～15：35

場 所 中会議室

議事次第

1. OPAC及び国文学論文目録データベースの横断検索の許諾について
2. データベースの公開について
3. 立川移転にともなう資料利用の停止について
4. 立川閲覧室・開架資料のレイアウトについて
5. 遠隔地の方への資料利用サービスについて
6. 図書資料委員会報告
7. 研究資源共有化システムについて
8. 端末入れ替えのスケジュールについて

第6回 平成19年2月15日(木) 10:30～11:55

場 所 中会議室

議事次第

1. 資料掲載規程別表の改正について
2. 図書館利用規程の改正について
3. 図書資料委員会報告
4. その他

第7回 平成19年3月22日(木) 15:00～15:45

場 所 中会議室

議事次第

1. 規程の制定について
2. 平成17年度外部評価報告書の改善及び検討状況について
3. 図書資料委員会報告

12

運営会議委員・幹部職員一覧

1. 運営会議委員（五十音順）

※職名は平成 18 年 4 月 1 日現在のもの

（館 外）

揖斐 高	成蹊大学文学部教授
岡崎 久司	元大東急記念文庫文芸部長
雲英 末雄	早稲田大学文学学術院教授
工藤真由美	大阪大学大学院文学研究科教授
榊原 悟	群馬県立女子大学文学部美学美術史学科教授
高埜 利彦	学習院大学文学部教授
十川 信介	学習院大学文学部教授
名和 修	陽明文庫長
平野由紀子	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授
保立 道久	東京大学史料編纂所長
森 正人	熊本大学大学院文学研究科長

（館 内）

安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
鈴木 淳	副館長
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系教授
中村 康夫	文学形成研究系教授
安永 尚志	複合領域研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授

2. 幹部職員一覧

館長	伊井 春樹
副館長	鈴木 淳
管理部長	城所 忠
総務課長	愛場 優治
財務課長	大西由喜男

事業課長	長坂 悦朗
文学資源研究系研究主幹	大高 洋司
文学形成研究系研究主幹	武井 協三
複合領域研究系研究主幹	谷川 恵一
アーカイブズ研究系研究主幹	高橋 実



大学院教育

【概要】

本年度は、11月に申請のあった1期生1名の学位論文審査を12月に行い（平成17年度中に予備審査合格済み）、2月の公開発表会・文化科学研究科教授会の議を経て合格、3月に博士号を授与された。

4期生の受入（2名入学）を行い、合計12名の教育研究を行った。

3期生、4期生の中間報告論文発表会（12月）を行うとともに、中間報告論文の審査を行い、全員を合格と判定した。

来年度の入学選抜を行い、5期生3名が合格した。

本年度末、担当教員1名の退任に伴い、新たな担当教員の選出を行った。

昨年度より継続の文化科学研究科「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業に積極的に参加し、重要な役割を分担した。

1. 日本文学研究専攻の運営

専攻の全般にわたる運営は、専攻長の元に置かれた専攻委員会において行っている。

専門的な事項については、専攻委員会の下に教育研究委員会及び入学選抜委員会を置いて審議している。さらに今年度は、昨年度設置した中教審答申対応ワーキンググループを発展させた評価委員会を設置して、専攻のアドミッション・ポリシーを明確にするとともに、平成19年の大学機関別認証評価対応のため、本部作成の書式による専攻別自己評価書を作成、提出した。

文化科学研究科全体の運営に対しては、毎月定例で開催される専攻長会議において、重要な案件の審議を行っている。また、専攻長会議とは別に、「魅力ある大学院教育」イニシアティブ委員会に専攻長と専任委員を、文化科学研究科レフェリージャーナル（「総研大文化科学研究」）編集委員会には、編集委員をそれぞれ派遣している。

総合研究大学院大学全体の運営に対しては、総研大本部の教育研究評議会に専攻長、評価担当教員会議に専攻の評価委員長が参加した。

担当教員の入れ替えについては、今年度末で退任する安永尚志教授の後任として、野本忠司准教授（文学情報論）を迎えることとした。なお、担当教員の選考については、専攻内に設置した人事委員会で厳正な審査を行い、専攻委員会で決定、専攻長会議で承認されている。

今年度は、文化科学研究科特定教育研究経費事業（3年目）、及び文部科学省に申請したイニシアティブ事業（2年目）への参加、日本文学研究専攻特別講義の実施、研究生の受入れなど、他専攻や他機関との教育研究の交流を深め、連携が強化されている。

2. 総合研究大学院大学及び文化科学研究科における活動

(1) 総合研究大学院大学教育研究評議会

今年度は定例で3回開催され、委員として専攻長が出席した。

(2) 文化科学研究科教授会

今年度は定例で2回開催され、構成員である担当教員が出席した。

(3) 文化科学研究科専攻長会議

テレビ会議方式と対面方式の両方により、毎月定例で開催された（通算13回）。

(4) 「魅力ある大学院教育」イニシアティブ委員会

昨年度に引き続き、専攻長及び中村康夫教授が委員として出席、事業の運営等について協議した（11回開催）。また、学生支援相談員を交えた合同の委員会を開催した。

(5) 評価担当教員会議

大高洋司教授（専攻評価委員長）を委員として派遣した。専攻内の評価委員会において明確化したアドミッション・ポリシーに基づいて、平成19年度大学機関別認証評価対応のため、本部作成の書式による専攻別自己評価書を作成し、12月に提出した。

(6) 総研大テラーメイド教育システム「広い視野を有する博士育成のためのテラーメイド教育システムの構築」

e-Learning方式による「遠隔教育システム構築事業」の一環として日本文学研究専攻から申請した「崩し字の読解」（中村康夫教授）が採択され、基本設計を行った。

(7) 総研大特別研究経費

e-Learning「書誌学」のシステム開発研究及びコンテンツ作成が進み、平成17年度完成分についての実証実験が行われた。

3. 教育研究指導

教育研究指導分野として4分野をたて、授業科目数22科目、21名の担当教員により日常的な指導を行った。学生数は1期生2名、2期生3名、3期生5名、4期生2名の合計12名である。加えて千葉大学大学院との学術交流協定による特別研究学生1名、研究生1名を受け入れている。

学生の教育研究指導については、主任指導教員が責任者となり、2名の副指導教員と共に、きめ細かく対応している。主任指導教員によっては、学生の学位論文の課題に応じて、適宜セミナー形式などの研究会を開催、また、基盤機関及び外部の研究会、学会に参加させるなど、より高度な専門教育研究指導を行っている。

本年度は、前・後学期を通じて9科目が開講され、所定単位を取得済の1・2期生及び3期生の一部を除き全員が受講、単位認定を行った。中間報告論文研究発表会は12月に2日間にわたって開催し、講評を行った。これを受けて提出された中間報告論文は、審査の結果全員合格となった。

本年度の特記事項は、平成17年度中に予備審査を合格していた1期生1名による申請（11月）を受けて、学位論文の本審査を12月に行い、2月の公開発表会、文化科学研究科教授会（2月）を経て合格、3月に博士号を授与されたことである。日本文学研究専攻にとって記念すべき、課程博士第1号となった。

また、イニシアティブ事業としての学生国内外派遣事業については、調査研究目的では、国内延べ10名、海外延べ2名、国内の学会などでの研究発表は延べ1名、海外での国際会議への参加は延べ2名であった。

総研大葉山本部の前学期学生セミナーでは、3期生1名が実行委員として参加し、4期生2名も出席した。

本年度は、文化科学研究科の学生支援相談員が中心となって企画運営する「第2回総研大文科フォーラム」が国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催され（9月15～16日）、日

本文学研究専攻からは2名が企画運営に関わったのを始め、教員5名、学生4名が参加した。

また、同じく研究科のイニシアティブ事業の一環として、本年度から「文科学術フォーラムー共通レクチャー」が京都市サーチパークにおいて開催され（2月24日）、日本文学研究専攻からは谷川恵一教授がパネルディスカッション「ナショナリズムの歴史と現在」に加わり、学生のポスター・セッションも行われた。教員6名、学生5名が参加した。

4. 専攻委員会

専攻委員会は日本文学研究専攻の担当教員で構成し、教育研究指導、学事処理、文化科学研究科・葉山本部への対応等、多事にわたって日本文学研究専攻の運営に全責任を負っている。

通常は専門委員会である教育研究委員会、入学者選抜委員会の議を経た事項を諮るため、定例で行われ、本年度は13回の開催である。

5. 教育研究委員会の活動

教育研究委員会は、日常的な学生の教育研究を指導、推進するため、7名の委員で構成している（12回開催）。

(1) 講義

年度当初に、学生が教育研究指導を受ける科目時間割の設定、科目の確定とシラバスのとりまとめ、履修計画の決定などを行い、前・後学期の講義を実施し（全22科目）、講義科目ごとの成績を厳正に評価し、単位を認定した。また、学年末に、最終的な成績評価を決定し、専攻委員会において学生の取得単位を確定した。

(2) 中間報告論文

12月5～6日、中間報告論文研究発表会を公開形式で開催した。3期生及び4期生7名の研究発表を行った。指導教員からの講評に続いて質疑が行われたが、学生・教員が一堂に会して行う日本文学研究専攻の中心的行事として、すっかり定着した感がある。学生は発表に基づいて中間報告論文をとりまとめ（2月に提出）、指導教員（3名）による審査を経て、合否判定を行い、最終的に専攻委員会で全員合格と判定した。

(3) 学位論文予備審査

本年度は、1期生1名による申請（平成17年度中に予備審査合格）を受けて、学位論文の本審査を12月に行い、公開発表会、教授会を経て、博士号を授与された。予備審査の申請は、前期・後期ともなかった。

(4) 総研大及び研究科からの付託事項の審議

本年度は、専攻内に評価委員会を設けて、中央教育審議会でも求められている新たな教育研究のための課題に対応し、また、平成19年度の大学機関別認証評価に向けてアドミッション・ポリシーを確定、本部からの要請に基づき、当専攻の自己評価書を作成、提出（12月）するとともに、単位認定、学位論文予備審査及び本審査の基準、全般的な教育基準を明確化し、年度内に可能なものから実行に移した。

(5) 教育研究資源の充実

学生の意思を汲み上げながら、基本及び専門図書並びに学術誌の選定を行っている。本年度は、基盤機関への寄贈図書のうち必要なものを選定し、専攻として譲渡を受けることになった。

6. 入学者選抜委員会の活動

入学者選抜委員会は7名の委員で構成し、国内外から広く学生を募集するための方策を検討、可

能な限り実施し、また、次年度の入学者選抜を行った（合計 11 回開催）。

(1) 募集要項の作成と配布

年度当初に、平成 19 年度の入学者の募集要項を作成し、配布と同時に多面的な広報を行った。

(2) 広報活動

①ポスターを作成し、全国の大学・公共図書館 603 件に掲示を依頼した。

②チラシを 5,000 枚作成して、国文学研究資料館の各種行事参加者に配布し、周知に努めた。また、教員が参加する学会などでも配布した。

③日本文学関連雑誌への広告の掲載を行った。

・「国文学－解釈と鑑賞－」（至文堂）2006 年 10 月号 表紙裏 1 頁大

・「国文学-解釈と教材の研究-」（學燈社）2006 年 10 月号 1 頁大

④「国文研ニュースNo 4」への掲載を行った。

(3) 大学院入試説明会

10 月 13 日に、国文学研究資料館において大学院入学試験説明会を実施した。

前半に田中優子氏（法政大学教授）の講演「江戸文学が残したもの－樋口一葉の実例より」があり（一般聴講可）、それに続いて、専攻長挨拶、入試説明、館内見学、現役院生・専攻担当教員との懇談を行った。参加者は 7 名であった。説明会のあり方については、さらに検討を加えて来年度に臨むこととした。

(4) 入学者選抜試験の実施

平成 18 年度の入学者選抜試験を実施した。出願者が 6 名あり、第 1 次試験（論文審査）では、1 名の出願者について 3 名の委員が審査を行い、6 名を合格と判定した。

第 2 次試験（面接試験）は、1 次試験の合格者 6 名に対して、7 名の面接官による 5 段階評価で行い、4 名を合格と判定した。その結果は文化科学研究科専攻長会議で承認された。最終的に 1 名が辞退し、3 名が入学した。

(5) 遠隔入試制度の検討

海外からの応募者が入学者選抜試験を受けやすくする方法及び制度について検討し、「海外に在住する出願者については、面接を免除することができる」ことにした。

募集要項には、出願手続き・選抜方法に関して、海外在住者には特別な措置を講ずることがあるので要望があれば申し出るように明記した。

7. 研究科・葉山本部などへの対応

昨年度から、専攻内に協議の場を置いている。特に大学機関別認証評価及び中教審答申対応については、課題の重要性から、本年度は専門委員会を設けた。

(1) イニシアティブ関連

研究科のイニシアティブ委員会と連携し、学生支援相談員 2 名と諸課題の処理を行い、「総研大文科フォーラム」の企画及び推進、今年度新たに企画された「文科学術フォーラム」の推進に積極的に協力した。

(2) 電子ジャーナル委員会

「総研大 文化科学研究」第 3 号の発刊に向け、伊藤鉄也委員を中心に原稿の収集及びレフェリーによる査読などを実施した。学生 2 名からの投稿があり、採択された。

(3) 評価委員会

昨年度設置した「中教審答申対応WG」を発展させ、平成19年度に実施予定の大学機関別認証評価に向けて、専攻内に評価委員会（委員長・大高洋司教授）を設け、日本文学研究専攻のアドミッション・ポリシーを策定し、本部からの要請に基づき、当専攻の自己評価書を作成、提出した（12月）。

8. 広報活動

入学者選抜委員会を中心に、ポスター、チラシ、基盤機関のHP、専攻概要、入試説明会等を通じて広報に努めている。現在入学志願者数（本年度6名）の大幅な増大には必ずしも結びついていないが、学位取得者の誕生や現役生の積極的な学会活動といった実績も、今後積極的にアピールして行くことを考えている。

9. 教育研究プロジェクト

今年度は、昨年度同様、主任指導教員を研究代表者とする教育研究プロジェクト（第1種プロジェクト）2課題と、専攻長を研究代表者とする教育研究プロジェクト（第2種プロジェクト）1課題を立てた。担当教員と学生は、全員いずれかの研究プロジェクトに重複しないで所属し、研究会の開催、文献資料の現場に学生を同行しての調査などを通じて、研究指導を行った。

(1) 第1種プロジェクト

「平安・鎌倉期の文学作品の成立に関わる享受史的研究」（研究代表者 中村康夫教授）

「近世期における日本文学及び関連資料の基盤的研究」（研究代表者 大高洋司教授）

(2) 第2種プロジェクト

「日本文学研究における創生的教育研究方式に関する研究」（研究代表者 安永尚志専攻長）

10. 日本文学研究専攻特別講義

今年度から、当専攻独自の事業として行うこととなった。

(1) 第1回特別講義（7月28日開催）

①「隅田川榎屋図と向島百花園の成立」鈴木淳（教授）

②「博物館と大学院－「神社とは何か」の研究展示から見てきたもの－」

新谷尚紀（日本歴史研究専攻・教授）

(2) 第2回特別講義（12月14日開催）

①「近代日本の「公」と「私」－公文書の成立－」丑木幸男（国文学研究資料館名誉教授）

②「人間の由来と病気」高畑尚之（総研大理事・副学長）

11. 特定教育研究経費による研究事業活動

研究科の特定教育研究経費による研究事業は、昨年度の「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業の採択により、再編・総合化され、引き続き実施されている。専攻長を研究分担者とし、担当教員全員がこれに参加している。

昨年度基礎編を概ね完成させたe-Learning「書誌学」は、内容を一部公開（「和書のさまざま」）し、本年度は絵巻物を題材とした応用編の作成作業が進行している。

他に、査読付きジャーナル誌「総研大 文化科学研究」第3号の編集にも参加している。当専攻からは、学生2名の投稿論文が採択されている。

12. イニシアティブ事業活動

今年度は、文化科学研究科「総合日本文化実践教育プログラム」（平成 17 年度文部科学省研究拠点形成費等補助金（若手研究者養成費）「魅力ある大学院教育」イニシアティブ採択）事業（2 ヶ年計画）の 2 年目に当たる。

本プログラムは、学際的で先導的な文化科学研究を推進し、新しい日本文化研究へのチャレンジ精神を備えた創造性豊かな若手研究者を育成することを趣旨とするものである。当専攻の事業実績は以下のとおり。

(1) 総研大文科フォーラム

国内外に派遣した学生の研究発表、調査研究などの成果報告として開催された（9 月 15 ～ 16 日）。教員 5 名、学生 4 名が参加した。学生支援相談員（当専攻から 2 名参加）が企画・運営に当たった。

(2) 国内学生派遣関連事業

国内の原典資料の調査研究、学会参加や研究発表に学生延べ 10 人を派遣した。

(3) 海外学生派遣関連事業

海外の研究機関、資料所蔵機関などへの調査研究、また国際会議への参加、研究発表に学生を派遣した。調査研究・研究発表 1 件、国際学会等参加 0 件、研究発表 1 件の、延べ 2 名が事業に参加した。

(4) 学生支援相談員事業

学生支援相談員として 2 名の学生を採用し、役割分担を決めて事業の推進を図った。

(5) 学生企画事業（Student Initiative Project）

「文科フォーラム」等、学生が中心となって進める専攻を跨ぐ事業に教員 6 名・学生 5 名が参加した。なお、事業の計画には教員も加わって学生を助けた。

(6) 遠隔教育事業

e-Learning「書誌学」は、研究科を跨ぐ遠隔教育のシステム環境の構築を目指し、絵巻物を題材として作業を推進した。

13. 千葉大学との教育研究連携活動

協定に基づく、千葉大学大学院人文社会科学研究科（本年度から改組、名称変更）との単位互換を主とする連携（研究指導を含む）は、本年度も特別研究学生 1 名を受入れた。

14. 施設、設備の整備

日本文学研究専攻は、独立した教育研究棟を備え、学生個々に学習スペースを確保しており、別に学生談話室（講義・懇談・学習・会議など多目的に利用）も設けている。

平成 19 年度末には基盤機関が立川市に移転するので、来年度は、これを視野に入れた施設・設備の点検・検討を行う予定である。

15. 予 算

総研大からの専攻運営費ですべてを賄っており、外部資金などは得ていない。



国際交流

【概要】

平成 17 年度に組織した国際交流委員会において、引き続き、国際交流活動の活性化を図るとともに、海外の日本文学者との懇談会を 7 回開催するなど、積極的に活動を行った。

また、新たに北京外国語大学日文学研究センター（中華人民共和国）、ライデン大学文学部（オランダ王国）、フィレンツェ大学（イタリア共和国）と学術交流協定を締結した。

国際交流関係の実施に当たっては、運営費交付金の他、科学研究費補助金や国際交流基金、日本学術振興会等の助成を受けて行っている。平成 18 年度実施の主要項目を列挙すれば、以下のとおりである。なお、科学研究費補助金その他による海外出張は全部で 67 件。

①日仏共同シンポジウム「境界を越える日本文学研究」の開催（パリ 於コレージュ・ド・フランス 平成 19 年 2 月 17 日）

②第 28 回国際日本文学研究集会の開催（平成 18 年 11 月 9 日～10 日）

③海外の日本文学者との懇談会の開催

第 1 回 タチヤーナ・ソコロワ＝デリュエシナ氏（翻訳家） 平成 18 年 4 月 25 日

第 2 回 ハルオ・シラネ氏（コロンビア大学教授） 平成 18 年 5 月 16 日

第 3 回 ピーター・コーニツキ氏（ケンブリッジ大学教授） 平成 18 年 6 月 8 日

第 4 回 鄭良樹氏（南方学院華人族群文化研究所長） 平成 18 年 8 月 24 日

第 5 回 曹大峰氏（北京外国語大学日文学研究センター教授） 平成 18 年 11 月 30 日

第 6 回 ロイヤル・タイラー氏（オーストラリア国立大学名誉教授） 平成 18 年 12 月 13 日

第 7 回 高木香世子氏（マドリッド・アウトノマ大学助教授） 平成 19 年 1 月 31 日

④コレージュ・ド・フランスとの学術交流協定による活動

当館からコレージュ・ド・フランスへ加藤文学形成研究系助教授を派遣し、講義を行った。

⑤客員外国人研究員の招聘 2 名

エリス・ティニオス氏（リーズ大学名誉講師）

ダニエル・ストリューブ氏（パリ第 7 大学助教授）

⑥国外機関からの招聘による職員派遣

○ウィーン大学東アジア研究所 FWF プロジェクトのシンポジウム「幕末・明治の戯画・諷刺画」での講演のため（山下文学形成研究系教授）

○北京師範大学日文系シンポジウム「東アジアの中の日本文学」参加（大高文学資源研究系教授）

○国際会議「東アジア漢語漢文学の翻訳と伝播」に参加（陳文学資源研究系助教授）

○フランス国立高等研究院にて、「Direction d'etudes Bouddhisme Japonais」を担当し、講義を実施（齋藤文学形成研究系助教授）

⑦科学研究費補助金による招聘研究員 2 名（フランスパリ第 7 ドウニ・デイドロ大学
フランスパリ国立東洋言語文化大学）

⑧外国人研究員の受け入れ4名

韓国国家記録院学藝研究士（韓国） 李旻龍

アダム・ミツキェヴィッチ大学（ポーランド）教授 エステラ・ゼロムスカ

韓国国家記録院学藝研究士（韓国） 金慶南

コロンビア大学大学院博士課程（アメリカ） マイケル・エメリック

⑨国際会議等への参加

野本忠司 4月 EACL（自然言語処理に関する国際会議）に参加（イタリア）

鈴木 淳 5月 フリーア美術館（米国ワシントンDC）におけるシンポジウム

"HOKUSAI: BREAKING BOUNDARIES, MAKING WAVES"への参加

大高洋司 5月

〃

山下則子 5月 シンポジウム「幕末・明治の戯画・風刺画」（ウィーン大学・オーストリア）

野本忠司 8月 SIGIR2006 及び AMTA2006 に参加

陳 捷 8, 9月 シンポジウム「宋代文化」（四川大学・中国）

高橋 実 9月 シンポジウム「オスマン朝と中近世日本における国家文書と社会動態」（アンカラ大学・トルコ）

大友一雄

〃

〃

渡辺浩一

〃

〃

大高洋司 12月 シンポジウム「東アジアの中の日本文学」（北京師範大学・中国）

伊井春樹 2月 シンポジウム「境界を越える日本文学」（コレージュ・ド・フランス・フランス）

田淵句美子

〃

〃

武井協三

〃

〃

谷川恵一

〃

〃

山下則子

〃

〃

安永尚志

〃

〃

木戸雄一

〃

〃

鈴木 淳 3月 人間文化研究総合推進事業研究計画「大学共同利用機関における博物館」海外研究協議会「海外における日本文化の表象」（大英博物館・イギリス）



15 総務・財務

1. 総務課

(1) 組織改組について

研究協力業務の増加、国際交流業務の拡大、大学院教育関係業務の増加及び広報に関する事務の効率的運営に対応できる新たな事務体制の検討を行った。

(2) 自己点検・評価について

平成 17 年度と同様に評価委員会において、自己点検・評価を実施し、平成 18 年度年度計画の策定を行うとともに、外部委員を構成員とする委員会において、委員会で出された意見を汲み上げ、当館の運営の改善に努めた。

また、平成 20 年度に評価が行われる「中期目標期間における教育研究の状況についての評価」に関して検討を開始した。

(3) 広報について

平成 17 年度に引き続き、季刊「国文学研究資料館ニュース」を刊行し、展示会、イベント等で幅広く配布するとともに、英語版ホームページのリニューアルを行うなど、当館の広報に努めた。

また、広報委員会において、「広報に関する懇談会」に関する検討を開始し、今後、引き続き検討を行うこととした。

なお、平成 20 年度の立川市への移転に関連して、新ロゴマークを立川市の協力のもとに募集した。

(4) 事務の合理化について

会議室の管理をグループウェアで行うようにし、業務の効率化・迅速化を図った。また、引き続き、電子メールや館内専用ホームページの活用により、通知・周知等の迅速な情報提供やペーパーレス化に努めた。

(5) 外部資金による任期付き採用について

科学研究費補助金による研究支援者を平成 18 年 4 月 1 日に 5 名、7 月 1 日に 1 名、9 月 1 日に 1 名採用した（任期はいずれも平成 19 年 3 月 15 日）。

(6) 職員の研修について

当館の主催としては、「メンタルヘルス及びパワー・ハラスメントに関する研修会」を実施した。

また、職務に対する理解を深めるとともに職員の業務遂行能力の向上及び当館での業務だけでは得難い幅広い知識の取得をさせることにより優秀な人材を育成するため、国立大学協会等外部機関が主催する研修会へも積極的に参加させた。

(7) 超過勤務の管理について

引き続き、月 2 回開催の管理部連絡会議において、超過勤務縮減のため各課・系の業務内容、

分担等の見直し及び業務の効率化について繰り返し要請を行った。

また、毎週水曜日を「定時退館日」、金曜日を「早期退館日」と定め、職員に周知することにより超過勤務の縮減を図るとともに、引き続き超過勤務を行う場合は、各職員が超過勤務の理由及び必要時間数を担当課長に申告し、担当課長が緊急性等を判断し、場合によっては時間数の短縮又は通常時間内に処理するよう指導の上、真に必要な時間数を命ずることとした。

(8) 職員の福利厚生について

年1回の健康診断の実施のほか、引き続き職員の人間ドック受診時の費用を一部負担するなど、職員の健康の保持増進に努めた。

また、レクリエーション事業として、バドミントン大会、ボウリング大会、ウノ大会を行ったことにより職員間の交流及び心身のリフレッシュを図るなど福利厚生の充実に努めた。

(9) 研究プロジェクトについて

研究プロジェクト発表会を月1回開催し、各プロジェクトの進捗状況を定期的に公表するとともに事務連絡の場を設け、教員、事務双方とも情報の共有化を図った。

(10) 研究連携について

①人間文化研究機構内での連携研究等

機構内を構成する各機関の連携協力を推進するため実施する機構内連携研究等に対し、当館においても積極的に取り組んだ。

a) 機構連携研究

連携研究「日本とユーラシアの交流に関する総合的研究」に即した研究領域の一つ「文化の往還」は、平成18年度から本研究となり、3月に国際シンポジウムまた、研究テーマ「文化資源の高度活用」に即した課題「『日本実業史博物館』資料の高度活用」を開始し、新たな人間文化研究の推進を図った。

b) 機構研究資源共有化

平成17年度に引き続き、当館教員が委員として入っている研究資源共有化検討委員会において、総合的検索システムの仕様を決定した。その上で、当館教員などから委員を選出し、タスクフォースを組織して、ソフトウェアを開発するとともに、各機関にサーバーを配置する等して、システムの基本部分について調達・導入を行った。

c) 機構連携展示

7月に「企画連携室」の下に広報担当理事と各機関からの教員を構成員とする「連携展示ワーキンググループ」を設置し、19年度連携展示「幻の博物館の“紙”」の準備を行った。

②科学研究費における連携状況

下記の科学研究費補助金における研究活動は、研究目的上、国内・海外双方の研究者との連携が不可欠であるため、有意義で効果的な連携研究が行われている。

・基盤研究(A) 「在欧日本古典籍に関する日仏伊共同学術調査」 研究代表者：谷川恵一
研究期間：平成15～18年度

(11) 研究者の交流について

①客員教員

当館の研究プロジェクトへの参加を条件として採用を行うこととし、各研究系内において適任者を選考の上、研究主幹が研究業績等を記入した選考調書を作成し、その選考調書に基づき、研究系会議において選考及び客員教授及び客員助教授の称号付与について協議の上、主幹・部長会議の議を経て、館長が決定することとした。

- ・平成 18 年度の採用状況 教授 2 人、助教授 3 人
(所属別 国立大学 1 人、私立大学 4 人)
- ・平成 19 年度の採用計画 教授 3 人、准教授 3 人
(所属別 国立大学 4 人、私立大学 1 人、その他 1 人)

②外国人研究員

毎年外国人研究員を招へいし、共同研究を行っている。平成 18 年度においては、文学形成研究系に 1 名配置し、平成 17 年度から継続の文学資源研究系の 1 名を加えた 2 名の外国人研究員が中心となりそれぞれの共同研究を実施した。

③機関研究員

高度な研究能力を持つ若手研究者の養成及び研究プロジェクト等の推進を図るため、客員教員に準じた選考方法により各研究系に 1 名を配置している。

④日本学術振興会特別研究員

優れた若手研究者に、研究の場等を提供し、研究に専念する機会を与えるため、当館においても積極的に受入れることとし、平成 18 年度においては、新たに 1 名を加え平成 17 年度からの継続 3 人を含め 4 名に対し、研究指導を行った。

その他、学術交流協定を締結しているコレージュ・ド・フランス日本学高等研究所との間における研究者交流や、私費、外部資金及び他機関等からの経費負担による研究者（外来研究員制度）についても積極的に受け入れており、平成 18 年度は 4 名（内外国人 4 名）を外来研究員として受け入れた。

(12) 外部資金について

当館の研究内容は、受託研究、民間等との共同研究等にはなじみにくい分野であり、競争的研究資金の獲得としては、科学研究費補助金、財団等が募集する研究助成金、その他の奨学寄附金を積極的に受け入れている。

平成 17 年度から、引き続き、研究戦略委員会において、外部資金獲得のための手段を講ずるとともに、競争的研究資金の募集情報を館内専用のホームページに掲載するなど、広く職員に周知を図った。

また、前年度は実績のなかった財団等の研究助成金については、7 件申請し、2 件が採択され、2 件が審査中であるなど、外部資金の積極的な獲得への取り組みが根付け始めた。

平成 18 年度外部資金受入状況

①科学研究費補助金

22 件 直接経費 68,200 千円、間接経費 12,060 千円 合計 80,260 千円

この他に、当館が経理する分として、

研究成果公開促進費（データベース） 4 件 20,600 千円

特別研究員奨励費 4 件 3,300 千円

があり、総額は 161,170 千円となっている。

②財団等の研究助成金 2 件 4,960 千円

③奨学寄附金 1 件 600 千円

なお、科学研究費補助金については、教員、事務職員等を対象に近隣大学に呼びかけて、5 機関主催の説明会を文部科学省から講師を招いて開催するなど、ルールへの理解と遵守及びルール

違反・不正使用のペナルティなどについて周知を図った。

(13) リサーチアシスタントについて

若手研究者育成の観点から、当館においてもリサーチアシスタントを採用することとし、各研究系に3人を上限とする枠を設け配置している。

採用に当たっては、各研究系が実施する研究プロジェクト（共同研究型含む）への参加補助を条件としており、選考手続きは、各研究系内で適任者を検討し、学生（候補者）及び所属大学の主任指導教授から内諾を得て、研究主幹が選考調書を作成し、研究系会議及び主幹・部長会議の議を経て、館長が決定している。

・平成18年度の採用状況 12人

（所属別 国立大学7人、私立大学5人）

（研究分野別 国文学系9人、歴史学系3人）

うち、当館が基盤機関である総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻の学生は6名。

研究プロジェクトに参画させ、研究活動の効果的推進、研究体制の充実を図る一方で、若手研究者の研究能力の育成を目指しており、任用期間終了時には受入教員からリサーチアシスタント研究指導報告書を、本人からリサーチアシスタント研究成果報告書の提出を義務付けている。

(14) 知的財産関係について

法人化を契機に、今まで以上に知的財産の保護、円滑な管理及び専門家の養成などが、急務となっており、知的財産委員会を設置した。

また、人間文化研究機構における知的財産管理室へ2名の職員を併任させるとともに、知的財産セミナーやシンポジウムへ積極的に参加させるなど、当館における知的財産の創造、保護及び活用に対する意識の向上に努めた。

著作物については、その保護や権利を巡り、裁判にまで及ぶ事例も報道されており、今後とも当館の研究の特性に配慮しながら、知的財産の基本理念に沿った体制整備が引き続き必要であると思われる。

以上、中期目標・中期計画・年度計画に定めた目標の達成に向け、館長のリーダーシップの下、組織体制の整備、人事の配置、研究教育面への支援などの業務運営を適正かつ効率的・効果的に行うことを通して、法人化後の円滑な研究教育活動等の促進に向けて取り組みを行ったところである。

今後とも、引き続き自ら点検・評価を行いながら、目的意識を持った業務の質の向上及び事務の効率化・合理化を目指し、更なる機能的な組織整備に努めていく。

2. 財務関係

(1) 平成 17 年度予算について

平成 17 年度事業予算については、前年度事業予算より 41,495 千円増の 626,599 千円が予算示達された。

予算増の要因は、移転予定地である立川の土地借料が、前年度の 4 ヶ月分から 1 年分へと期間が長くなることにより 47,132 千円増となったため、実質的には前年度より 5,637 千円減の予算であった。

その予算の範囲内で、館内において各事業や各研究プロジェクト等の業務計画を策定し、館内予算の配分を行った。

また、各予算を見直すため、当初に配分した予算の 10 % 分を留保し、館長のリーダーシップのための経費枠を新たに設け、館長を中心に館内予算のヒアリングを行い、重点的な予算配分を行った。

(2) 立川市への移転について

立川移転に関する諸課題については、昨年度より引き続き移転委員会にて検討を行った。移転委員会は 9 月に当館における委員会の再編に伴い移転実行委員会としてその役割を継承している。

重要課題である当館の移転時期については、平成 20 年 2 月を目標とすることとした。

これは、総合研究棟Ⅰ期工事が竣工する予定の平成 19 年 9 月末以降、貴重資料に害を及ぼす湿気除去の期間を考慮しつつ、なるべく遊休施設とならないようにするためであり、この時期を基準に全体のスケジュールを計画することになった。

次に、各課各研究系において現有什器の調査を行い、現状の建物使用状況の把握をするとともに、総合研究棟における各室の使用用途について施設マネジメントの観点からも検討を行った。具体的には共同利用研究室については各研究系を超えて相互に利用可能なスペースとして使用することができることとした。

対外的には移転二機構（人間文化研究機構、情報・システム研究機構）並びに三機関（国文学研究資料館、国立極地研究所、統計数理研究所）において構成される「立川移転二機構事務連絡会」及び「課長連絡会」において移転三機関の共通事項について協議・調整を行った。連絡会での検討事項等については、当館移転実行委員会に諮り、当館としての意見を取りまとめた上で提案を行っている。

立川移転に伴う移転経費及びその後の建物維持費等経費の増加は深刻な問題であるため、予算の確保に努めるとともに、極力経費を抑制する移転計画案となるよう検討中である。

移転予定地の土地購入については、平成 17 年度に 10,285.71 m²を購入し、累計購入面積は 15,935.42 m²となり、残る面積は 46,514.65 m²となった。

また、主に国文学研究資料館が専有する予定の総合研究棟Ⅰ期工事は平成 19 年 9 月末に竣工予定であるが、主に国立極地研究所及び統計数理研究所が専有予定の総合研究棟Ⅱ期工事は平成 18 年 1 月に着工したばかりで、竣工は平成 21 年 3 月の予定であるため、移転時期も本館とは 1 年以上の開きが生じ、共通部分の維持管理費負担の考え方は、今後の難しい検討課題である。